

質問順位は、議会の申し合わせにより決定しています。なお、紙面は要約してありますので、詳しくは5月下旬に配置予定の会議録または市議会ホームページをご覧ください。

一般質問

登壇者と通告項目

染谷 信一（政清会）

障害者差別解消法（障がい者の人数ほか）、成年後見人（研修会の状況ほか）、清水字雨溜地区、清水公園駅西口、清水公園駅前線

中村 あや子（公明党）

子ども支援室（運営状況ほか）、防災対策（防災会議などで出た女性の意見、物質供給等の状況）、振り込め詐欺対策、日本遺産登録

石原 義雄（民主連合）

（仮称）野田道の駅構想、防災行政無線の活用（一般住宅火災発生時におけるの通報、地域で実施している防災訓練や防犯情報の発信）

織田 真理（日本共産党野田市議団）

奨学金制度、第2子以降の保育料、就学援助費、学校教育における障がい児支援、子ども食堂（職員体制ほか）、障がい者医療費助成

長南 博邦（新社会党）

野田市に対する評価、財政の見通し、公契約条例、新耐震改修促進計画、学校の部活動、学校図書館（利用の現状、利活用の向上）

船橋 繁雄（みん清クラブ）

市長の政治姿勢、野田自然共生ファーム（就農支援センターの用途ほか）、閑宿堀水質浄化事業（非かんがい期の環境用水の成果ほか）

小室 美枝子（市民ネットワーク）

スクールソーシャルワーカー（SSW）の活用、ごみ減量対策と住民負担軽減策（ルールの徹底ほか）、障害者差別解消法に基づく取り組みと課題

栗原 基起（新しい風）

法政大学のゼミへ委託した事業カウンターのPR（これまでの取り組みほか）、ICT教育（マイクラフトを導入した教育の推進ほか）

小俣 文宣（政清会）

日常生活支援総合事業（制度の仕組みづくりと財源、サービスの拡充、利用者の負担増ほか）、ゴミゼロ運動、歩行者用信号機設置

椿 博文（公明党）

障害者差別解消法の施行、通行量の多い交差点の安全対策（光葉町三丁目16番地先の交差点の安全対策ほか）、ごみの出し方

滝本 恵一（民主連合）

ドローン（規制区域外の現状と課題、行政の活用方法）、教育の情報化（小中学校ICT教育の現状と課題ほか）、スポーツ振興

星野 幸治（日本共産党野田市議団）

介護保険、防災・震災対策（家具転倒防止器具取り付けに関する助成制度の創設）、荒天時の浸水・排水対策、市民生活道路の整備

山口 克己（政清会）

全国学力・学習状況調査、学習支援事業（参加率及び出席率向上のための周知・PRの内容ほか）、教育の充実と青少年の健全育成

小椋 直樹（民主連合）

自転車利用（高齢者の指導、自転車安全利用条例制定）、保育士の規制緩和、マイナンバー制度、国保第三者求償、買い物弱者

清水字雨溜地域の

雨水対策について

染谷 信一
議員

■質問 清水字雨溜地域では、これまでも道路の冠水被害に遭い、下水道の逆流現象や床下浸水が起こっている。昨年9月の大雨時にも雨水がたまり、市民生活に支障を来しているが、早急な対策について伺う。

□答弁 この地域はくぼ地になっているため、対応に苦慮しているが、アパート建築の際の開発指導において、地域の状況を踏まえ、事業者には雨水浸透貯留槽の貯留量を増やし、敷地内での雨水処理を行うよう対

応したところである。今後の対策としては、都市計画道路堤台柳沢線を県道結城野田線まで延伸する計画があることから、この堤台柳沢線の下に座生4号幹線を布設することとあわせ、当該地区までの排水管の整備による雨水対策を考えているが、整備に時間がかかることから、当面は丸要建設まで布設されている排水管の流下能力を検証した上で、既存側溝の断面を大きくすることや排水ポンプの設置などを検討していきたい。

清水字雨溜地域



清水字雨溜地域

振り込め詐欺 対策については

中村 あや子
議員

■質問 高齢者の振り込め詐欺の被害が多発し、重大な社会問題となっている。市も防犯まめメールなどを発信し、広く市民に注意を促しているが、被害の現状と対策について伺う。

□答弁 市における振り込め詐欺の被害の認知件数は、平成27年1年間で25件、約9千33万円あり、オレオレ詐欺や市職員を名乗った手口の還付金詐欺などで、被害の多くは、商業施設等に設置されたATMに誘導し、振り込ませるものである。対策としては、従来から野田市安全安心メールにより振り込め詐欺防止の情報発信を行っており、27年度は2月末までに計13件の配信

を行った。また、金融機関と連携し、ATMに振り込め詐欺防止の注意喚起の表示をしたり、スーパーマーケットの協力を得て、注意喚起の店内放送を行っているなど、引き続き各方面と連携を図りながらさまざまな対策を進めていきたいと考えている。



金融機関ATMの注意喚起表示

一般質問

野田道の駅(仮称)

構想について

雄義
議員

石原

■質問 しょうゆやみそ、

煎餅などの野田物産や新鮮な野菜類を活用し、情報発信の拠点として、国道16号線沿線を利用した(仮称)野田道の駅の構想について当局の考えを伺う。

□答弁 地域の特産品や観光資源を生かして集客や地域の仕事を生み出すなど道の駅は独自の進化を始めている。道の駅の整備には国や県からの補助金もあるが、近隣の道の駅等を見ても設置する各自治体の負担が非常に大きいことを承知して

おり、また、平均的に見て

も約2万平方メートルの面積が必要であることから、適地を確保することが非常に難しいと考えている。ラ

ンニングコストの面においても、八千代市の道の駅では、平成23年には年間6千800万円の赤字が出ており、現状では赤字額は減っているものの、依然として市の持ち出しがあると聞いている。他の道の駅等では、直売所やレストランを運営する事業者からのテナント料で賄っているところもある

が、イベントなどで地元自治体職員が応援体制をとっている点を見ても、独立採算制にはなっていないと考えている。否定するつもりもないが、研究組織をつくるのはどうかという提案なので、十分問題なくやっていけるとい話になるのか詰めていただきたいと考えている。

奨学金制度について

織田 真理
議員

■質問 市の育英資金の貸与金額は月額1万5千円であり、現状に合っていないのではないかと。また、給付制の奨学金制度に取り組み自治体が増えているが、野田市としても設けるべきと考えるが見解は。

□答弁 大学生を対象とした育英資金の貸与額は、昭和53年度に月額1万2千円から現在の1万5千円に改定した。東葛6市で野田市同様に大学生に対する貸付制度を実施しているのは我孫子市のみであり、貸付額は月額2万円以内と規定されているが、現在貸付事業は休止している状況と聞いている。文科省の調査では、平成26年度の大学生1人当

たりの初年度の納付金は、平均で国立大学が約82万円、公立大学が約94万円、私立大学が約132万円という結果であり、1種類の奨学金では学費を賄うまでには至らないことは承知しており、学生本人が他の奨学金制度の併用などを検討された上で学費に充てているものと考えている。市では、限られた財源の中、奨学金を必要とする多くの方に貸し付けができるよう実施していきたい。また、給付制の奨学金制度については、学生に負担の少ない奨学金の紹介や貸し出しについて積極的に周知しているところであり、現状において創設は考えていない。

■質問 平成32年度を目標

に新耐震改修促進計画案がつくられ、パブリックコメントが終了した。東日本大震災以降、地震への知見も深まっており、旧耐震設計でつくられた家屋については耐震補強を進めなくてはならないが、耐震化率をどのような手法で大幅に引き上げるのか市の見解を伺う。

□答弁 耐震化率の目標の設定については、国の基本方針の中に建築物の耐震診

耐震化率の目標と

達成手段は

博邦
議員

長南

事項が示されている。この中で、住宅の耐震化率の目標については平成32年まで

断及び耐震改修の目標の設定や市町村耐震改修促進計画の策定に関する基本的な

に少なくとも95%にすることを目標としており、市町村耐震改修促進計画におい

ては、都道府県耐震改修促進計画を踏まえて目標を定めることが望ましいとされている。28年1月改定の千葉県耐震改修促進計画において、住宅の耐震化率の目標は32年度に95%としていることから、市においても、住宅の耐震化率の目標は32年度までに95%としたものであり、近隣市において

も同様に設定していると聞いている。目標達成の手段として、千葉県及び建築関係団体と相互に連携を図りながら、市民に耐震診断及び耐震改修等の必要性に関して啓発及び知識の普及を行い、耐震改修の促進や建てかえにより目標を達成するよう努めていきたいと考えている。

一般質問

■質問 安全・安心の地域再生、生物多様性や自然再生のシンボルであるコウノトリの飼育を国または動物園にお願いし、市においては取りやめるべきではないか。また、市民を政策のシンボルに取り上げたらどうか伺う。

□答弁 市の目的としては、コウノトリの飼育や野生復

帰のみを目的としたものではなく、コウノトリをシンボルとした生物多様性の保

実に広がっている自然再生の取り組みを中心に、地域振興や市のイメージアップ

コウノトリの飼育と政策のシンボルについて

雄員 繁議員
船橋

全と自然再生が目的である。今後もコウノトリの飼育を継続し、現在市において着

に活用していきたいと考えている。また、市民を対象にした意識調査の中におい

て、コウノトリについては着実に好意的な評価を受けているということ、これからの課題としては、いかにさらなるPRをしていくかが重要であるという結果が出ており、市としては総合計画に定められた目標をもとにしっかりとした政策を進めていくべきであると考えている。



こうのとりの里

スクールソーシャルワーカーの活用実績と評価は

子員 枝義
小室美

■質問 スクールソーシャルワーカーは、いじめや不登校、暴力行為など生徒指導の課題に対応するため、社会福祉等の専門的な知識や技術を用いて児童生徒が置かれたさまざまな環境に働きかけて支援を行う。市におけるスクールソーシャルワーカーの活用実績と評価について伺う。

□答弁 活用実績については、東葛管内では平成27年4月から12月の間に松戸市鎌ケ谷市、流山市において25件の活用があった。野田

市においては、25年度に小学校で1件、26年度に小学校1件及び中学校1件の2件があり、今年度の活用はない。活用実績における評価については、25年度の1件は、子供の交通事故による家族や子供たちのケアを行うため、スクールソーシャルワーカーがカウンセラーのスーパーバイザーと一緒に対応し、その働きかけによって、児童や保護者の精神的な安定が得られたと聞いている。26年度の1件目は、スクールソーシャル

ワーカーが保護者や子供と週1回程度の面談を6カ月間行い、養育のあり方について助言を行い、また医療機関につながることできた。2件目については、学校が複雑な家庭環境が原因と思われる子供の非行について助言を受け、その後学校が中心となり対応し、児童相談所につながることできた。

プログラミング教育の推進について

基起 栗原
議員

■質問 プログラミングとはコンピュータソフトウェアを使い必要な計算をしたり、芸術商品にもなる作品をつくることであり、論理的思考や問題について考え抜く力が必須になるが、現在行われている授業内容と効果について伺う。

□答弁 プログラミング教育については、主に中学校技術家庭科の技術分野において、情報に関する技術の単元の一つとして年間計画に基づいて進めており、コンピュータを用いた計測や制御のためのプログラムを作成を通して基本的な仕組みを知り、簡単なプログラムの作成、情報処理の手順を学習するものである。



プログラミング教育（北部中学校）

モーターカーの教材を用いて、プログラムで制御する体験的な学習を行っている学校もあり、プログラムへの苦手意識を持たず、意欲的に取り組みむことができ、児童生徒のICTリテラシーが向上し、現代社会を生き抜く基礎を身につけることができると考えている。

一般質問

日常生活支援総合事業における 労働力の確保について

宣議員 小俣

■質問 介護の現場では慢性的に人手不足の状態が続いているが、今後のマンパワーの確保についてどのような方策を考えているか。

□答弁 国は介護現場での人材確保について、離職した介護人材の呼び戻し、新規参入の促進、現場で働く介護人材の定着促進の3つの施策を挙げている。新規参入の促進では、介護職を目指す学生の就学支援と卒業後の就労定着促進のために介護福祉士等就学資金貸付制度の拡充のための整備

■質問 多くの自治体では、全国大会や世界大会に出場する市民やスポーツ団体に奨励金や補助金を交付している。市民のスポーツ意欲を高め、競技力の向上を推進するためにも必要と考えるが、導入について市の見解を伺う。

□答弁 市では、スポーツ推進計画を策定し、市内に

において優秀なスポーツ選手を育成することにより、将来世界を舞台にして活躍できる人材を輩出できるよう、スポーツ選手の競技力の向上を目標として取り組んで

全国大会奨励金の交付は

恵議員 滝本

いる。このため、選手を激励するために、新年互礼会における市表彰条例に基づ

くスポーツでの全国大会優勝者の表彰や11月の野田教育の日に行う市教育委員会

表彰規程に基づく教育委員会表彰、12月に市体育協会が開催するスポーツの集いにおいて、国体出場選手に記念品の盾の贈呈などを行っているが、学校体育以外の全国大会出場選手への奨励金制度はない。また、市体育協会においても全国大会等で優秀な成績をおさめた選手の表彰を行っている。

るが、奨励金制度はないのが現状である。学校体育以外の全国大会等出場選手への奨励金制度については、スポーツ推進計画の中で世界を舞台に活躍できる人材を輩出するという目標を実現するためにも、近隣市の実施状況も踏まえた上で、今後検討していきたいと考えている。

障がい者等利用 駐車場の適正 利用について

椿 博文議員

介護福祉士の資格を取得しようとする実務経験者に対して、3年以上の実務経験に加え、実務者研修を修了することが義務づけられたことから、さらなる介護職員の雇用促進に向けて介護福祉士資格取得に係る実務者研修の修了者についても助成できるようにしていきたいと考えている。

■質問 公共施設の障がい者等利用駐車場の適正利用の促進については、平成27年6月議会で質問した後、対応いただいたことも多くあるが、現状の対策と今後の方向性について伺う。

□答弁 障がい者等利用駐車場の適正な利用を促進するためには、まず利用者のモラルやマナーの向上を図り、理解を深めていくことが重要と考えている。27年6月以降の取り組みとしては周知と理解を深めるポスターを不特定多数の利用者がいる本庁舎や閑宿支所、櫻のホール等18施設で掲示を行い、利用者のモラルやマナーの向上啓発に努力しているところである。また、障

がい者等利用駐車場の案内標示板を新たに清掃工場や水道部等3施設に設置した。今後は、さらなる利用者のモラルとマナーの向上が必要と考え、一般の方は障がい者等利用駐車場以外へ駐車をお願いしますと駐車整理券に大きく表示をし啓発に努めている。



清掃工場に設置された案内標示板

一般質問

■質問 新総合事業への移行を先行した地方自治体で矛盾があらわになっている。介護保険からの卒業を迫られ、必要なサービスを使わずに重度化してしまうケースが起きているが、市として、新総合事業の今後の取り組みについて伺う。

□答弁 介護予防・生活支援サービス事業は、これま

での介護予防給付のホームヘルプとデイサービスと同じ基準のまま実施していき

介護予防・日常生活支援総合事業の今後の取り組みは

星野 幸治 議員

たいと考えている。国のガイドラインでは、介護予防・生活支援サービス事業は現

に行っているホームヘルプとデイサービスのほかに、NPOやボランティアなどの新たな担い手による緩和された基準等の多様なサービスを実施することが可能

となっているが、市では当面は現在行っているホームヘルプとデイサービスのみを実施し、その需給の動向を注視しながら新たなサービスの導入について検討していきたいと考えている。

者筋力トレーニング、介護支援ボランティアポイント制度などを原則として継続するが、これまでのノウハウを生かしつつ、より効果的、効率的な事業展開を目指して、市民みずからが取り組み、地域に拡大していくような仕組みを検討しながら再編していかねければならないと考えている。

学習状況調査の

質問項目について

山口 克己 議員

■質問 学習状況調査における質問項目のうち、特に学力と深く関係すると思われる項目への回答が全国平均と比較してどうか。

らいか、スマートフォンの使用時間などの質問については、全国と比較して特に課題が見られる状況であり、また、教科の勉強は大切だ

■答弁 全国学力・学習状況調査の児童生徒質問紙では、全部で87の質問があり、学習意欲や生活習慣、授業の状況等について質問がされている。朝食を毎日きちんととっているか、テレビゲームで遊ぶ時間はどれく

とも、教科の勉強は大切だと思うか、教科の授業の内容がよくわかるかといった授業に主体的、意欲的に臨む姿勢などを問う質問についても課題が見られる。市として重視している項目における質問について、小学校では全国を下回り、中学校では全国を上回る傾向は、各教科、領域の平均正答率において下降傾向にある小

保育士の規制緩和について

小椋 直樹 議員

学校と上昇傾向にある中学校の要因の一つになっているものと考えている。市教委としては、教員の指導力の向上を柱とした授業改革や児童生徒がみずから学ぼうとする自主学習を柱とした家庭学習の充実等を図りながら、今後も児童生徒の学力向上を目指していきたいと考えている。

■質問 保育士の条件を緩和するなど、保育士不足解消のための方針が打ち出され平成28年4月から導入されるが、市の現状と今後の保育制度の改変について考えを伺う。

□答弁 保育士の内訳については、直営4保育所で保育に当たる158人中、無資格者は46人、指定管理者6保育所では128人中、無資格者は8人で、いずれも無資格者は非常勤職員である。市では、国が延長保育等における無資格者は一定の研修を受けた者が保育士と組むこと、教諭を保育士として活用する場合、全体配置数の3分の1以内を超えないことなどの条件を付して保

育の質の担保を考慮していることを踏まえ、現状の市の無資格者については保育士資格を持たない一定の者の条件である、業務経験や研修の修了による保育スキルを重視し、県の子育て支援員研修等を受講するなど、質の向上に向けた適切な対応をしていきたいと考えている。一方で、今後の施設整備や定員増に対応できる保育士数を確保することが重要なことから、保育士確保の新たな方策を講じるとともに、行革大綱に沿った計画的な指定管理者の導入を進めることで、直営保育所の延長保育時間における無資格者の状況も改善するものと考えている。

議長選挙／請願・陳情のご案内ほか

請願・陳情をされる方へ

要望等を市政に直接反映させるための方法として、どなたでも請願書や陳情書を議会に提出することができます。

提出された請願・陳情は郵送及び市外からの陳情を除き、市議会で慎重に審査（原則として本会議に上程し、委員会に付託）した後、最終的な結論（採択・不採択）を出して提出者に通知します。

採択した請願・陳情で、執行機関で処理することが適当なものについては、市長や関係機関に請願書・陳情書を送付し、その実現に努力するよう求めます。

□受付は随時行っていますが、6月定例会（7月開催）の場合、6月30日までに提出されたものを審査します。その後に提出されたものは、9月定例会で審査することになります。

□請願書・陳情書には趣旨と項目、提出年月日、住所、氏名（団体の場合は名称と代表者名）を記載したものを市議会議長宛てに提出してください。請願書には紹介議員の署名または、記名押印が必要となります。

□請願・陳情の提出者は、希望により審査する委員会において趣旨説明をすることができます。

提出に際しては、事前に議会事務局まで お問い合わせください。

【問合せ先】04-7125-1111（内線3314）

議長選挙

3月定例会初日の3月2日の本会議において、議会の代表である議長の選挙を行いました。投票は単記無記名方式により行い、開票の結果、中村利久議員（政清会）が最多数の22票を獲得し、当選。第53代議長に就任しました。



中村 利久 議長

政清会所属
山崎在住
現在4期目
議長、副議長、
議会運営委員長などを歴任

ホームページに請願・陳情等を掲載

平成27年12月定例会から、本会議に上程された請願・陳情、議員提出議案（市長提出議案は、野田市ホームページにリンク）を市議会ホームページに掲載していますのでご覧ください。

インターネットで本会議の生中継・録画放映がご覧になれます

インターネットに接続することにより、ご自宅でも本会議の模様をご覧になることができます。放映は本会議のみで、生中継と録画放映を行っています。録画放映は、本会議開催日のおおむね3日後（土・日・休日は日数から除く）から視聴できます。

議会中継を視聴する場合には市議会ホームページの「議会中継」をクリックしてください。

動作環境としましては、

WindowsOS：Windows7 以上 MacOS：Mac OS X 10.7.5 以上
AndroidOS：Android3.2 以上 iOS：iOS6 以上が必要になります。
また、動画の再生には、Flash Playerが必要となりますので、ご注意ください。

ご不明な点がございましたら議会事務局までご連絡ください。



市議会ホームページの「議会中継」